



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月28日

上場会社名 株式会社 不二家
コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5978-8100

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	77,414	2.9	774	—	1,630	210.8	668	—
2023年12月期第3四半期	75,208	4.4	△201	—	524	△85.9	△90	—

(注)包括利益 2024年12月期第3四半期 1,238百万円 (1.1%) 2023年12月期第3四半期 1,225百万円 (△64.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	25.94	—
2023年12月期第3四半期	△3.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	83,709	60,833	66.9
2023年12月期	83,125	60,640	67.3

(参考)自己資本 2024年12月期第3四半期 55,993百万円 2023年12月期 55,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年12月期	—	0.00	—		
2024年12月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	3.3	3,600	161.9	4,200	99.6	2,500	157.8	96.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	25,784,659 株	2023年12月期	25,784,659 株
2024年12月期3Q	9,000 株	2023年12月期	8,779 株
2024年12月期3Q	25,775,815 株	2023年12月期3Q	25,775,982 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～9月30日）におけるわが国の経済は、政府の各種施策の効果により景気は緩やかに回復しておりますが、食品業界においては、原材料・エネルギー価格の高騰や値上げに対するお客様の節約志向が続く中、夏場の記録的な猛暑による菓子需要の減少もあり、厳しい状況となりました。

このような状況下にあつて当社グループは、お客様に、より良い商品と最善のサービスの提供を心掛け、売上と利益の確保につとめてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、774億14百万円（対前年同期比102.9%）、営業利益は7億74百万円（前年同期は2億1百万円の営業損失）、経常利益は16億30百万円（対前年同期比310.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億68百万円（前年同期は90百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第3四半期連結累計期間		前第3四半期連結累計期間		対前年同期比	増減
		2024年1月1日から 2024年9月30日まで		2023年1月1日から 2023年9月30日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
洋菓子事業	洋菓子	百万円 16,922	% 21.9	百万円 17,195	% 22.9	% 98.4	百万円 △273
	レストラン	4,493	5.8	4,155	5.5	108.1	337
	計	21,415	27.7	21,351	28.4	100.3	64
製菓事業	菓子	50,014	64.6	48,033	63.9	104.1	1,981
	飲料	3,475	4.5	3,423	4.5	101.5	52
	計	53,490	69.1	51,456	68.4	104.0	2,033
その他		2,509	3.2	2,400	3.2	104.5	108
合計		77,414	100.0	75,208	100.0	102.9	2,206

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子事業においては、洋菓子チェーン店にて『プレミアム製品』をはじめとする主力製品のクリームの改良等による品質向上に取り組むとともに、『厳選素材製品』や旬のフルーツを使用した『ショートケーキ12の花物語』シリーズの販売に注力し、売上の向上につとめました。また、新V I（ビジュアルアイデンティティ）に基づく店舗改装の継続的な推進に加え、8月にはお菓子やケーキについて学べる期間限定の体験型ショップ

「ペコちゃんの学校」、9月には新業態店舗「ペコちゃん milky ドーナツ」の展開により、新規顧客の獲得をはかりました。販路の拡大に取り組むべく商業施設や駅などに冷凍スイーツ自動販売機の設置も推進し、当第3四半期連結会計期間末における設置数は240台となっております。なお、同時点における不二家洋菓子店の営業店舗数は、901店（前年同期差39店減）となりましたが、上記施策の効果により、既存店の売上は堅調に推移しております。

広域流通企業との取り組みについては、コンビニエンスストア向けに当社の技術力を活かした製品や、外食チェーン企業向けに洋菓子製造ラインを活用した製品の提案を積極的に行い、売上の確保につとめました。

上記の結果、単体の洋菓子事業の売上は前年同期の実績を上回りました。

レストラン事業では、メニュー改善及び価格の一部見直しを実施し、客数及び客単価アップをはかりました。また、イオンモール幕張新都心店の新規開店や神戸アンパンマン&ペコズキッチン店をはじめとする既存店の改装効果もあり、売上は前年同期の実績を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は214億15百万円（対前年同期比100.3%）となりました。

<製菓事業>

当社単体の菓子事業においては、『カントリーマアム』や『ホームパイ』などの大袋製品の販売に注力したほか、当社の技術力を活用した新たなカテゴリーの製品を発売、拡販をはかりました。7月には朝食需要を見据えた食物繊維入りソフトクッキー『モーニングマアム』を、9月にはしっとり濃厚な焼菓子の新ブランド『スーパーハイウェイ』の「銀座窯出し」シリーズを発売し、新規顧客の獲得につとめました。チョコレート製品については、原材料や包装資材価格の高騰などへの対応として、価格改定及び内容量変更を実施したほか、テレビコマーシャルやデジタル広告配信、各種キャンペーン等の販売促進活動を推進いたしました。

上記の結果、単体の菓子事業の売上は前年同期の実績を上回りました。

飲料事業については、発売60周年を迎えた『ネクター』の積極的な販売促進活動の展開に加え、「ネクター スパークリング380mlボトル缶」の発売もあり、売上は前年同期の実績を上回りました。

不二家(杭州)食品有限公司においては、春節需要の復調はあったものの、中国国内の景気減速の影響が大きく、売上は前年同期の実績を下回りました。なお、11月から新たに製造を開始するグミ製品の拡販に取り組み、売上確保につとめてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は534億90百万円(対前年同期比104.0%)となりました。

<その他>

キャラクターグッズ販売事業、ライセンス事業、不動産賃貸事業及び(株)不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務の売上高は25億9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は296億52百万円で、主に受取手形及び売掛金の減により前連結会計年度末に比べ43億70百万円減少いたしました。固定資産は540億57百万円で、主に有形固定資産や投資その他の資産の増により、前連結会計年度末に比べ49億54百万円の増加となりました。

この結果、総資産は837億9百万円で前連結会計年度末に比べ5億84百万円増加いたしました。

また、流動負債は194億89百万円で、主に支払手形及び買掛金は減少しましたが、その他に含まれる設備電子記録債務の増により前連結会計年度末に比べ1億73百万円増加いたしました。固定負債は33億86百万円で、主にリース債務の増により、前連結会計年度末に比べ2億18百万円増加いたしました。

この結果、負債は合計228億76百万円で、前連結会計年度末に比べ3億91百万円増加いたしました。

純資産は608億33百万円で、主に為替換算調整勘定の増により前連結会計年度末に比べ1億92百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月13日に発表した予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,813	9,079
受取手形及び売掛金	16,443	10,527
商品及び製品	3,663	4,939
仕掛品	333	465
原材料及び貯蔵品	2,652	3,543
その他	1,301	1,273
貸倒引当金	△185	△175
流動資産合計	34,022	29,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,903	13,096
機械装置及び運搬具（純額）	12,943	13,552
土地	7,086	7,296
リース資産（純額）	599	834
その他（純額）	3,008	4,060
有形固定資産合計	35,540	38,840
無形固定資産		
その他	1,796	1,657
無形固定資産合計	1,796	1,657
投資その他の資産		
投資有価証券	6,530	6,999
繰延税金資産	1,175	1,426
敷金及び保証金	2,035	2,023
退職給付に係る資産	512	513
その他	1,632	2,722
貸倒引当金	△121	△126
投資その他の資産合計	11,765	13,558
固定資産合計	49,102	54,057
資産合計	83,125	83,709

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,082	7,340
短期借入金	960	960
リース債務	198	195
未払金	2,992	2,981
返金負債	2,390	1,838
未払法人税等	525	437
賞与引当金	451	1,063
その他	3,715	4,672
流動負債合計	19,316	19,489
固定負債		
リース債務	296	505
繰延税金負債	257	236
退職給付に係る負債	1,733	1,774
役員退職慰労引当金	66	69
その他	814	800
固定負債合計	3,168	3,386
負債合計	22,484	22,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,060	4,060
利益剰余金	31,440	31,335
自己株式	△17	△17
株主資本合計	53,763	53,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244	265
繰延ヘッジ損益	—	△6
為替換算調整勘定	1,367	1,559
退職給付に係る調整累計額	561	516
その他の包括利益累計額合計	2,172	2,334
非支配株主持分	4,704	4,839
純資産合計	60,640	60,833
負債純資産合計	83,125	83,709

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	75,208	77,414
売上原価	51,593	51,718
売上総利益	23,614	25,695
販売費及び一般管理費	23,815	24,921
営業利益又は営業損失(△)	△201	774
営業外収益		
受取利息	38	53
受取配当金	49	55
持分法による投資利益	551	693
保険解約返戻金	81	—
その他	68	89
営業外収益合計	790	891
営業外費用		
支払利息	5	6
その他	59	28
営業外費用合計	64	34
経常利益	524	1,630
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	20	—
関係会社株式売却益	76	300
特別利益合計	96	301
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	25	254
減損損失	—	73
投資有価証券評価損	2	—
支払補償費	69	—
その他	—	35
特別損失合計	96	364
税金等調整前四半期純利益	524	1,567
法人税、住民税及び事業税	749	819
法人税等調整額	△547	△254
法人税等合計	201	564
四半期純利益	322	1,002
非支配株主に帰属する四半期純利益	412	333
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△90	668

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	322	1,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	15
為替換算調整勘定	685	271
退職給付に係る調整額	2	△45
持分法適用会社に対する持分相当額	65	△6
その他の包括利益合計	902	235
四半期包括利益	1,225	1,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	569	830
非支配株主に係る四半期包括利益	655	407

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	17,195	—	17,195	—	17,195	—	17,195
レストラン	4,155	—	4,155	—	4,155	—	4,155
菓子	—	48,033	48,033	—	48,033	—	48,033
飲料	—	3,423	3,423	—	3,423	—	3,423
その他	—	—	—	2,256	2,256	—	2,256
顧客との契約から生じる収益	21,351	51,456	72,807	2,256	75,064	—	75,064
その他の収益	—	—	—	144	144	—	144
外部顧客への売上高	21,351	51,456	72,807	2,400	75,208	—	75,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	324	325	359	684	△684	—
計	21,351	51,781	73,132	2,760	75,892	△684	75,208
セグメント損益(△は損失)	△2,347	4,930	2,582	391	2,974	△3,175	△201

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△3,175百万円には、その他の調整額12百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,188百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	16,922	—	16,922	—	16,922	—	16,922
レストラン	4,493	—	4,493	—	4,493	—	4,493
菓子	—	50,014	50,014	—	50,014	—	50,014
飲料	—	3,475	3,475	—	3,475	—	3,475
その他	—	—	—	2,353	2,353	—	2,353
顧客との契約から生じる収益	21,415	53,490	74,905	2,353	77,259	—	77,259
その他の収益	—	—	—	155	155	—	155
外部顧客への売上高	21,415	53,490	74,905	2,509	77,414	—	77,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	284	284	353	637	△637	—
計	21,415	53,774	75,190	2,862	78,052	△637	77,414
セグメント損益(△は損失)	△1,228	5,106	3,877	408	4,285	△3,511	774

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△3,511百万円には、その他の調整額△1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,509百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)
重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	3,791百万円	3,749百万円